

『さつま町』誕生

新たな歴史のスタート

さつま町開庁式

3月22日、宮之城町・鶴田町・薩摩町の3町が合併し、新町『さつま町』が誕生しました。

さつま町役場本庁（旧宮之城町役場）では、午前7時50分から旧町の町長や町議会議員、職員など約150人が出席して開庁式を行いました。

式典では、町旗の掲揚の後、山口昭幸さつま町長職務執行者が「行財政基盤を強化し、旧3町がこれまで長い歴史の中で、お互いに培ってきた融和と互譲の精神で、『人々が織りなす元気で快適な活力あるまち』を目指そう」と、式辞を述べました。

その後、旧町長や関係者が新町名の銘板の除幕やテープカットを行ったほか、盈進小学校の児童がくす玉を割って新町『さつま町』の門出を祝いました。

また、鶴田総合支所や薩摩総合支所でもそれぞれ開庁式を行い、『さつま町』として新たな歴史がスタートしました。



鶴田総合支所



薩摩総合支所



町長職務執行者あいさつ

人々が織りなす元気で
快適な活力のあるまちの実現に向けて



さつま町長職務執行者

山口 昭幸

平成17年3月22日、宮之城町・鶴田町・薩摩町の3町合併により、新生「さつま町」が誕生しました。

新たな歴史の始まりとなる記念すべき日を迎え、新生「さつま町」は、面積303・43平方キロメートル、人口約2万7千人の町として新たにスタートしました。

これまで、「さつま町」誕生に向けて、ご尽力賜りました関係各位に對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。

現在、国・地方ともに大変厳しい行財政環境の中にあります。

「さつま町」も過疎化・少子化・高齢化が急速に進行しており、今後の町政運営には、決して平穏な日ばかりではないものと予想されますが、旧3町がこれまでの長い歴史の中で、お互いに培ってきた融和と互譲の精神のもとに、一体となつてそれぞれの個性を発揮し、知恵を出し合いながら新町建設計

画の将来像である「人々が織りなす元気で快適な活力あるまち」を

目指し、更に地域に住む人々が住んで良かったと思えるまちの実現に向けて、ご尽力いただくよう、ご期待申し上げます。

当地域は豊かな自然に恵まれており、古くからこれらの資源を活用した農産物などの生産活動をはじめ、歴史的にも貴重な伝統と文化を育みながら、北薩地域の中心地として栄えてきました。

新しいまちづくりのために町民の皆さますべてが、これらの豊富な資源を今一度見直し、有効的に活用することが、将来に向けて新たな発展を期するための礎になるものと思います。

最後になりましたが、新生「さつま町」の限らない発展をご祈念いたしまして、私のあいさついたします。



職員への辞令交付



旧町長から職務執行者へ事務引き継ぎ